

2025/8/11

東アジア資金部 ソウル室 +82-2-3782-5859

先週のマーケット動向(8月4日～8月8日)

為替、株式

	Open	High	Low	Close	Chg
USD/KRW	1,390.0	1,391.4	1,379.7	1,389.6	▲11.8
JPY/KRW	9.4061	9.4493	9.3573	9.4286	+0.119
KOSPI	3,114.27	3,227.68	3,105.63	3,210.01	+90.60

(Source: SMBS, Bloomberg)

先週のドル/ウォン相場は下落。週初ドル/ウォンは1,390.0ウォンでオープン。前週末米雇用統計が低調な内容だったことで、米早期利下げ期待が高まる中、軟調推移し1,380ウォン台前半まで下落した。しかし、安値圏では輸入企業による決済需要が旺盛で下支えされ5日には再び1,390ウォンを回復する動き。韓国7月CPIは前年比+2.1%と予想に一致し、相場への影響は限定的だった。6日も米ISM非製造業指数が軟調だった一方、物価項目の上昇が確認されたことでスタグフレーション懸念から米金利が底堅く推移したことで高値圏での推移が継続。7日にかけては米国が半導体に100%の関税を課すことを発表し。トランプ大統領が数日以内にFRB理事の後任を発表するとしたことで米早期利下げ期待が高まり、ドルが幅広く売られ一時1,380ウォンを割れる場面が見られた。週末8日にかけては再び実需勢による買いが入り1,390ウォンを回復する場面も。結局、前週末比▲11.8ウォンの1,389.6ウォンでクローズした。(韓国時間15:30)

今週の見通し

今週のドル/ウォン相場はレンジ推移か。米早期利下げ期待が高まるも、関税影響など米インフレは底堅く推移。今週12日には米7月CPIの発表を控え、インフレ動向が為替相場にも影響しよう。基本的には米スタグフレーション懸念が残存する中で、ドル/ウォンは1,380～1,390ウォン前後での推移を予想する。

USD/KRW	JPY/KRW	USD/JPY
1370 ~ 1400	9.30 ~ 9.60	145.5 ~ 148.5

* USD/KRW chart (source: Bloomberg)



* JPY/KRW chart (source: Bloomberg)



今後の予定

- 12日(火) 米 7月 CPI
- 13日(水) 韓 7月 失業率
- 14日(木) 米 8月 失業保険新規申請者数
- 欧 2Q GDP
- 米 7月 PPI
- 15日(金) 米 8月 ミシガン大消費者マインド指数 速報値
- 日 6月 鉱工業指数 確報値
- 中 7月 小売売上高
- 中 7月 鉱工業生産
- 米 8月 NY連銀製造業指数
- 米 7月 鉱工業生産
- 米 7月 小売売上高
- 日 2Q GDP 速報値

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。